

子育て・子育て支援情報 24

問合せ先 市役所こども育成グループ
☎52-1111(内線362・363)

Eメール ikusei@city.takahama.lg.jp

情報ファイル

◆3月「春の人形ウオークラリ」

菊人形と細工人形の歴史、制作方法を学びながら、人形小路を散策し、実際に細工人形を見学しました。周囲の自然を観察し春の訪れを実感しながら、高浜の伝統文化に触れることができました。参加した子どもたちは、普段何気なく目にしている



パソコンの分解

未来塾講座の活動報告

◆2月「ゲームクリエイター」

「ITに挑戦」 普段親しんでいるテレビゲームやパソコンの裏側に迫る企画に、大勢の参加者が集まりました。テレビゲームがつくられる仕組みを学んだり、パソコンを分解したり、ロボットを組み立てて、プログラムを組んで動かしたりと、学校や家庭ではなかなか体験できない講座に、子どもたちは目を輝かせて参加していました。

おとなも子どもも たかはま

おたくの息子さんは偉いぬえ

勉強もスポーツもがんばってるしおまけにクラス委員長の仕事もがんばってるし

うちの子なんてやんちゃなだけぢやないか

おまえんちの母ちゃんは何で偉いなア

え？ なんて？

うちの母ちゃんなんてズボラなだけで困っちゃうよ

たかはま夢・未来塾学校講演会

学校名	日程	講師名
高浜小学校	平成19年3月1日	有森裕子氏 (女子マラソン選手)
吉浜小学校	平成19年2月13日	金田一秀穂氏 (杏林大学外国語学部教授)
高取小学校	平成19年2月13日	石川隆司氏 (宇宙航空研究開発機構ディレクター)
	平成19年2月22日	仲島正教氏 (教育サポーター)
港小学校	平成19年1月18日	鬼丸昌也氏 (NPO法人テラ・ルネッサンス代表)
	平成19年2月23日	鈴木裕之氏 (YOYO世界チャンピオン)
翼小学校	平成19年2月28日	清澤久恵氏 (作曲家・翼小校歌作曲者)
	平成19年3月1日	有森裕子氏 (女子マラソン選手)
高浜中学校	平成19年2月9日	太田哲也氏 (NPO法人KEEP ON RACING代表)
	平成19年3月13日	千田潤一氏 (株式会社アイ・シー・シー代表取締役)
南中学校	平成19年2月27日	鬼頭 隆氏 (詩人・童話作家)



清澤久恵氏講演会

講演会に参加した子どもは、講師から多くのものを学んだように、「また話が聞きたい」「自分もがんばれば先生のようになれるかな」などという声がかげられました。熱心に質問をし、講師から多くのことを学ぼうとする姿が印象的でした。

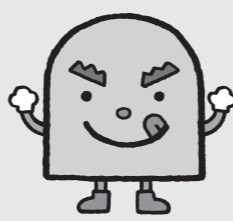
今月の手づくりメニュー

保育園で子どもたちが食べている給食やおやつの手作り方を一部をご紹介します。ご家庭でも簡単にできます。ぜひ、お子さんと一緒に作ってみてください。

◆あめじやが

- 材料(1人分) じゃがいも80g、A(醤油2g、水あめ4g、砂糖2g)、ごま油0.5g、黒ごま0.5g、揚げ油適量
- 作り方
①じゃがいもは皮をむき、一口大に切り、かためにゆでる。
②じゃがいもを170℃の油で揚げ

- る。
③鍋にAと、水(醤油と同量)を入れ、かき混ぜながらあめ色になるまで煮る。
④③に②を入れて手早くからめ、黒ごまをふる。



カワラッキー

栄養士から一言 じゃがいもで作った大学いもです。新じゃがは、皮がやわらかいので、皮をむかずに作れます。

コラム

たかはま子ども市民憲章

市では、10月26日(金)・27日(土)に「地方自治と子ども施策」全国自治体シンポジウムを開催します。

このシンポジウムは、国連子どもの権利条約の実現を図ることを目的とした早稲田大学喜多明人氏をはじめとする学識経験者および行政職員を中心に平成14年兵庫県川西市で開催され、毎年開催されています。市では、平成15年11月に「たかはま子ども市民憲章」を制定し、この普及啓発を行っています。このシンポジウムに関係する先生たちに子ども市民憲章に関するメッセージをお願いし連載しています。皆さんも一緒に、子どものことを考えてみませんか。

おとなは子どものためという善意から、子どもに加害行為をおこなってしまう

吉永省三(千里金蘭大学生活科学部児童学科教授)

「おとなは子どものためという善意から、子どもに加害行為をおこなってしまう」。じつはこれは、世界に誇れる高水準の教育・福祉を達成してきたにもかかわらず、しかし深刻な子ども問題に直面した北欧で、とくに70年代後半からいわれはじめたことです。

その視点は、いま子どもの権利条約(89年国連採択、94年日本批准)に見ることが出来ます。子どもの最善の利益(3条)は、子どもの話を聴くこと(12条)から——というものです。実際北欧では「子どもに対して残されている課題は子どもの話を聴くおとな側の試みだ」との認識のもと、子どもの意見表明・参加を大切に子どもを育ちを豊かに支援する、さまざまな取り組みが進められてきました。そして02年国連子ども総会は「子どもにふさわしい世界はす



プロフィール

吉永省三

千里金蘭大学生活科学部児童学科教授(教育学・子ども救済論)、著書『子どものエンパワメントと子どもオンフズパーソン』(明石書店) 他